

**製品名: PITX3 (7E2) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe16168**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, FC 1:10-1:100
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PITX3
別名	Pitx3; PTX3;
遺伝子 ID	5309.0
SwissProt ID	O75364
免疫原	ヒト PITX3/PTX3 の合成ペプチド

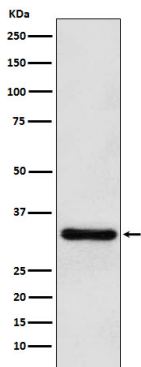
**背景**

中脳間脳ドーパミン作動性ニューロン (mdDA) の発達過程における分化と維持に重要な転写制御因子です。発達過程における重要性に加え、mdDA ニューロンの長期的な生存と維持にも役割を果たします。中脳間脳ドーパミン作動性ニューロン (mdDA) の発達過程における分化と維持に重要な転写制御因子です。発達過程における重要性に加え、mdDA ニューロンの長期的な生存と維持にも役割を果たします。mdDA ニューロンの発達に必須の SLC6A3、SLC18A2、TH、DRD2 などの遺伝子の NR4A2/NURR1 を介した転写を活性化します。NR4A2/NURR1 とコリプレッサー NCOR2/SMRT の相互作用を減少させることで作用します。NCOR2/SMRT はヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) を介して作用し、NR4A2/NURR1 標的遺伝子のプロモーターを抑制された脱アセチル化状態に保ちます。正常な水晶体の発達と分化に不可欠です。水晶体上皮細胞の有糸分裂活性の維持、線維細胞の分化、および線維細胞特異的クリスタリンの時間的および空間的活性化の制御において重要な役割を果たします。前水晶体上皮において FOXE3 の発現を正に制御し、PROX1 の発現を負に制御することで、CDKN1B/P27Kip1 および CDKN1C/P57Kip2 の活性化を防ぎ、水晶体上皮細胞の細胞周期を維持します (類似性による)。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



U87-MG 細胞溶解物中の PITX3 発現のウエスタンブロット解析。